

看護部教育計画書

平成22年4月作成

		対象	教育目標	研修のねらい	研修内容
専門性を高めるため教育	看護実践能力の向上	全員	・基本的な知識・技術を身につけ、入院から退院の継続のある看護を提供できる	看護実践者としての基本的な知識、技術を体得する	・看護過程研修 ・看護過程看護フォローアップ研修 ・フィジカルアセスメント学習会 ・救急時看護研修会
	卒後教育Ⅰ	1年目	前期 ・病棟内の患者が受けている看護の内容が理解できる ・患者急変時に必要な介助ができる ・物品、薬品の保管場所が分かる 後期 ・原則を踏まえた基本的な患者指導ができる ・実践した看護を判断・根拠を基に記録ができる ・看護計画を立て、振り返ることができる ・患者、家族の置かれている状況を捉えることができる ・病態整理を踏まえ、患者の全体像を捉えることができる	自分としての看護観や看護を探究する心を育てる	・プリセプティ研修 ・救急時の対応 ・薬局・検査科・放射線科・手術室・内視鏡室研修 ・他病棟研修
	卒後教育Ⅱ	2年目	・研究メンバーの一員として、看護研究に取り組むことができる ・自分の考えを発表できる ・プリセプティのよき理解者となることができる ・患者、家族への指導を行うことができる ・他部門のスタッフと連携の仕方が分かる ・チーム全体の中で、看護過程が展開できる	同期の絆を深め、ともに成長しつつ課題を知る	・2年目看護学習会 (フィジカルアセスメント研修会参加)
	キャリア開発Ⅰ	3～4年目	・プリセプターとして、新人の指導ができる ・研究的視点を持つことができる ・研究課題を見つけることができる ・患者、家族への指導のリーダーシップをとることができる ・カンファレンスを通して看護過程の展開ができる	後輩を指導すると同時にリーダーシップを取れるようになる	・プリセプター定例会 ・プリセプターシップ研修会 ・院内リーダーシップ研修会
	キャリア開発Ⅱ	5～9年目	・スタッフ教育のリーダーシップをとることができる ・チーム全体のバランス(スタッフの能力・患者重症度など)を考えた上で、優先順位を踏まえた調整ができる ・専門性を確立する	看護実践のリーダーシップが発揮でき自己の課題を明確にして取り組める	・他病院研修(関連病院、札幌大病院など) ・現任教育(院外)
	キャリア開発Ⅲ	10年目以上	・自分の仕事を探し、改革できる能力を養う ・自らが中心となって活動するという意識を持つことができる ・メンバーのチェック、指導ができる ・委員会、研究などでリーダーとしての役割を担うことができる	看護における先輩としての役割を再認識する	・経験10年以上看護師・准看護師研修(院外)
	全体教育	看護研究を充実させるための研修	全員	X	看護研究の基礎的な取り組み方を身につけ、意欲的に研究ができる
社会の変化に対応できるための研修		看護職としての適切な役割を果たしていくために、幅広い知識を得る			・伝達講習会 ・救急看護 ・他職種(OT・PT・STなど)にする研修会 ・院外認定看護師(癌科学療法・癌性疼痛等)による研修会
リフレッシュのための研修会		豊かな感性・柔軟性を育む			・リフレッシュ研修(工芸・リンパ体操等)